



平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社ユビテック 上場取引所 大  
 コード番号 6662 URL http://www.ubiteq.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)荻野 司  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)明石 直人 (TEL)03(5487)5560  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績 (平成24年7月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	1,336	△25.5	△83	—	△43	—	△32	—
24年6月期第2四半期	1,795	△5.8	127	△32.7	119	△34.0	59	△35.6

(注) 包括利益 25年6月期第2四半期 △32百万円(—%) 24年6月期第2四半期 61百万円(△35.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第2四半期	△224 81	— —
24年6月期第2四半期	418 03	410 36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第2四半期	3,664	3,323	89.1
24年6月期	4,124	3,392	81.0

(参考) 自己資本 25年6月期第2四半期 3,264百万円 24年6月期 3,339百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	— —	0 00	— —	300 00	300 00
25年6月期	— —	0 00	— —	— —	— —
25年6月期(予想)	— —	— —	— —	300 00	300 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想 (平成24年7月1日～平成25年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,650	1.0	150	△19.5	200	△6.5	100	△2.9	699 79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年6月期2Q	144,340株	24年6月期	144,300株
25年6月期2Q	1,400株	24年6月期	1,400株
25年6月期2Q	142,921株	24年6月期2Q	142,698株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当社は、平成25年2月13日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の資料及び動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要などにより緩やかな回復基調となり、12月の政権交代後は円安、株価上昇が進むなど、一部に改善の兆しが見られたものの、欧州債務問題の長期化、中国をはじめとする新興国における経済成長率の鈍化、近隣諸国との関係悪化等の影響等により、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。当社グループの関連市場においても、特に大手電機メーカーの収益悪化の影響により、設備投資抑制は続き、需要回復の遅れや価格低下圧力が強まる等、全般的に厳しい事業環境となりました。このような状況の中で、引き続きグループ全体によるローコストオペレーション体制を維持する中で、顧客先企業の影響を受けにくい自社製品・サービスの開発に注力してきました。

特に、省エネソリューション事業のUGSをさらに進化させた「BE GREEN Next (BGN)」やカーソリューション事業の車載システムについては、「自然に出来てしまう、やりたくなる省エネ」を実現する製品として、代理店や顧客との連携をより強化し、満足度の向上と機能強化のために更なる先行開発投資及び販売推進に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,336百万円（前年同四半期比25.5%減少）、営業損失は83百万円（前年同四半期は営業利益127百万円）、経常損失43百万円（前年同四半期は経常利益119百万円）、四半期純損失は32百万円（前年同四半期は四半期純利益59百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## 電子機器事業

電子機器事業は、紙幣鑑別ユニット等のATM向けセンシングモジュールが中国問題の影響を受けたこと、および、カーソリューション事業については車載端末の納入時期のずれが発生したことにより、前年同四半期比減収減益となりました。現在、センシングモジュールおよびカーソリューションシステムは競争力強化のための次機種開発を進めており、新規量産のための開発案件にも着手しております。また、コスト削減については業務全体を見直しながら関係協力会社にもご協力頂き、仕入コストや外部委託費用についての削減を継続して進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は809百万円（前年同四半期比32.1%減少）、セグメント利益は84百万円（前年同四半期比69.4%減少）となりました。

## モバイル・ユビキタス事業

モバイル・ユビキタス事業については、子会社のユビテックソリューションズは堅調に推移したものの、携帯電話評価業務の売上が大幅に減少したことにより、前年同四半期比減収減益となりました。携帯電話評価業務については、Androidを実装した端末・アプリケーションにおけるユーザビリティ評価や脆弱性検証のサービスを開始し、新分野への事業展開を推進していきます。省エネソリューション事業については売上貢献にはいたっておりませんが、12月には「第7回ファシリティマネジメント大賞（JFMA賞）」において「技術賞」を受賞し、BGNの省エネに対する有効性が認められましたので、これまでの受賞歴も生かし拡販につながるよう活動を進めています。また、営業外収益として計上されるNEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の助成金を活用しながら、機能強化のための研究開発投資を引き続き進めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は527百万円(前年同四半期比12.6%減少)、セグメント損失は16百万円(前年同四半期はセグメント利益2百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は3,664百万円となり、前連結会計年度末から459百万円減少しております。主な内容としましては、現金及び預金が138百万円、受取手形及び売掛金が370百万円減少しております。

(負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は340百万円となり、前連結会計年度末から390百万円減少しております。主な内容としましては、支払手形及び買掛金が302百万円、未払法人税等が17百万円減少しております。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は3,323百万円となり、前連結会計年度末から68百万円減少しております。主な内容としましては、四半期純損失32百万円の計上と剰余金の配当42百万円によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)の残高は、以下の各キャッシュ・フロー状況とそれらの増減要因により、前連結会計年度末に比べて140百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末は、1,294百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は127百万円(前年同四半期は343百万円の支出)となりました。これは主に売上債権の減少370百万円があったものの、税金等調整前四半期純損失の計上45百万円、たな卸資産の増加71百万円、仕入債務の減少302百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は10百万円(前年同四半期は74百万円の収入)となりました。これは主に敷金及び保証金の回収による収入29百万円、有形固定資産の取得による支出9百万円、資産除去債務の履行による支出6百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は42百万円(前年同四半期は36百万円の支出)となりました。これは主に配当金の支払42百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年8月10日に発表しました、平成24年6月期決算短信に記載の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

一部の連結子会社において、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,584,692	2,446,189
受取手形及び売掛金	1,184,688	814,152
製品	6,726	62,308
仕掛品	29,052	46,177
原材料及び貯蔵品	17,461	15,812
繰延税金資産	16,229	31,010
その他	60,439	37,409
貸倒引当金	△1,566	△1,204
流動資産合計	3,897,724	3,451,856
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,566	48,230
減価償却累計額	△28,617	△22,531
建物及び構築物(純額)	23,949	25,699
工具、器具及び備品	244,722	211,000
減価償却累計額	△196,506	△166,095
工具、器具及び備品(純額)	48,216	44,904
リース資産	4,562	4,562
減価償却累計額	△1,520	△1,976
リース資産(純額)	3,041	2,585
建設仮勘定	—	8,380
有形固定資産合計	75,206	81,569
無形固定資産		
その他	14,309	12,914
無形固定資産合計	14,309	12,914
投資その他の資産		
投資有価証券	32,762	30,795
繰延税金資産	48,704	56,591
その他	55,608	30,812
投資その他の資産合計	137,075	118,199
固定資産合計	226,591	212,684
資産合計	4,124,316	3,664,540

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	480,180	177,891
未払金	49,174	41,146
未払法人税等	27,340	10,087
リース債務	958	958
賞与引当金	10,761	3,820
役員賞与引当金	17,000	1,000
その他	87,909	53,427
流動負債合計	673,324	288,332
固定負債		
退職給付引当金	54,805	49,589
リース債務	2,235	1,756
その他	1,107	941
固定負債合計	58,148	52,286
負債合計	731,472	340,618
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	880,794	881,077
資本剰余金	594,696	594,979
利益剰余金	1,952,962	1,877,961
自己株式	△75,474	△75,474
株主資本合計	3,352,979	3,278,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,221	△10,915
為替換算調整勘定	△3,157	△3,521
その他の包括利益累計額合計	△13,378	△14,437
新株予約権	32,797	38,359
少数株主持分	20,445	21,455
純資産合計	3,392,843	3,323,921
負債純資産合計	4,124,316	3,664,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,795,169	1,336,925
売上原価	1,353,848	1,125,845
売上総利益	441,320	211,079
販売費及び一般管理費	314,146	294,485
営業利益又は営業損失(△)	127,173	△83,405
営業外収益		
受取利息	1,329	1,187
受取配当金	2	—
為替差益	—	19,316
助成金収入	—	18,986
その他	789	1,148
営業外収益合計	2,121	40,639
営業外費用		
為替差損	9,283	—
投資事業組合運用損	409	875
その他	32	1
営業外費用合計	9,725	877
経常利益又は経常損失(△)	119,569	△43,643
特別利益	—	—
特別損失		
固定資産除却損	721	1,469
固定資産売却損	188	—
投資有価証券売却損	1,682	—
特別損失合計	2,591	1,469
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	116,977	△45,113
法人税、住民税及び事業税	38,209	8,259
法人税等調整額	17,982	△22,270
法人税等合計	56,191	△14,011
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	60,785	△31,101
少数株主利益	1,133	1,028
四半期純利益又は四半期純損失(△)	59,652	△32,130

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	60,785	△31,101
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	578	△693
為替換算調整勘定	△182	△383
その他の包括利益合計	396	△1,076
四半期包括利益	61,181	△32,178
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,058	△33,188
少数株主に係る四半期包括利益	1,123	1,010

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年7月1日 至平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	116,977	△45,113
減価償却費	14,981	16,644
株式報酬費用	4,746	5,561
株式交付費	24	1
投資有価証券売却損益(△は益)	1,682	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	142	△361
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,948	△6,937
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,500	△16,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△397	△5,216
受取利息及び受取配当金	△1,331	△1,187
為替差損益(△は益)	8,943	△19,231
投資事業組合運用損益(△は益)	409	875
固定資産売却損益(△は益)	188	—
固定資産除却損	721	1,469
売上債権の増減額(△は増加)	△374,042	370,535
たな卸資産の増減額(△は増加)	29,248	△71,059
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,382	△302,288
その他	△11,955	△57,303
小計	△227,595	△129,610
利息及び配当金の受取額	875	1,976
法人税等の支払額	△116,798	△29,230
法人税等の還付額	55	29,346
営業活動によるキャッシュ・フロー	△343,463	△127,517
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△419,856	△2,000
定期預金の払戻による収入	500,000	—
有形固定資産の取得による支出	△2,642	△9,125
無形固定資産の取得による支出	△3,541	△994
有形固定資産の売却による収入	—	90
敷金及び保証金の回収による収入	—	29,078
資産除去債務の履行による支出	—	△6,587
投資有価証券の取得による支出	△2	—
投資有価証券の売却による収入	200	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,157	10,460
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△479	△479
株式の発行による収入	5,814	562
配当金の支払額	△42,301	△42,438
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36,965	△42,355
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,029	18,909
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△315,301	△140,502
現金及び現金同等物の期首残高	1,671,075	1,434,692
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,355,774	1,294,189

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電子機器事業	モバイル・ユビ キタス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,191,386	603,782	1,795,169	—	1,795,169
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,191,386	603,782	1,795,169	—	1,795,169
セグメント利益	274,330	2,986	277,317	△150,143	127,173

(注) 1. セグメント利益の調整額△150,143千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△150,143千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	電子機器事業	モバイル・ユビ キタス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	809,173	527,751	1,336,925	—	1,336,925
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	809,173	527,751	1,336,925	—	1,336,925
セグメント利益又は損失(△)	84,025	△16,567	67,458	△150,863	△83,405

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△150,863千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△150,863千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。